

野田宇太郎とキリシタン文学

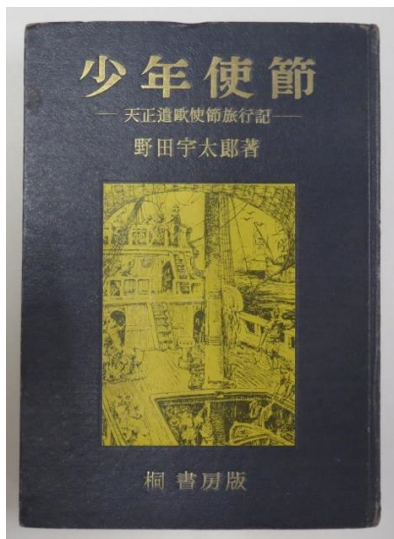
キリシタン史と近代日本文学の関係について、野田宇太郎が目撃したのは、明治時代の紀行文「五足の靴」を発見した時のことでした。この作品をきっかけに、大正期の文壇では、キリシタンに異国情調（エキゾチズム）を見出した「南蛮趣味」が流行します。この発見は、野田の近代日本文学研究の始まりでもありました。

キリシタンについて調べていくうちに、野田は1582年にヨーロッパへ派遣された「天正遣欧少年使節」の旅に魅了されます。そして『少年使節の旅』『羅馬の虹』を執筆するなど、文学的にも大きな影響を受けました。

今企画展では、野田が収集したキリシタン関連資料を中心に、野田が文学的な視点で、キリシタン史をどのように見ていたかについて紹介します。



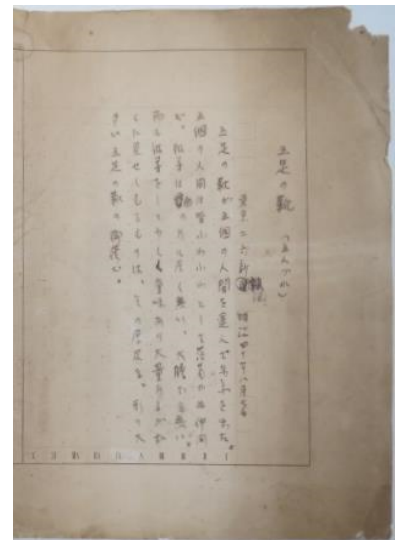
『西日本文学散歩』執筆のため、九州のキリシタン遺跡を取材中の野田宇太郎（昭和41年頃）。



1



2



3

1.野田宇太郎 著『少年使節 天正遣欧使節旅行記』（昭和24年 桐書房）
天正遣欧少年使節の旅を、児童向けに紹介したもの。

2.Gualtieri『Relationi della venuta degli ambasciatori giapponesi』（グアルチエリ 著『日本遣欧使者記』）
16世紀にベネチアで出版された、天正遣欧少年使節についての報告書。邦訳に木下左太郎 訳『日本遣欧使者記』がある。

3.野田宇太郎 写筆原稿「五足の靴（五人づれ）」
明治41年、東京二六新聞に掲載された「五足の靴」を、野田が書き写した原稿。

関連イベント

● 記念講演会

12月予定

※詳細はホームページ、チラシなどでお知らせします。

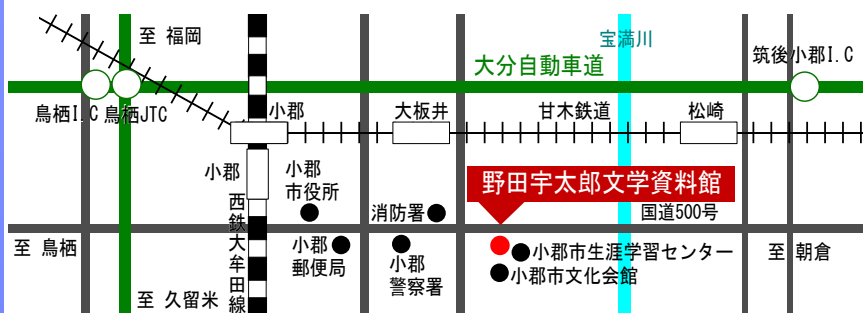
● ギャラリートーク

9月28日（土）、11月16日（土）、
12月14日（土）

各回14時～（約30分）

会場：野田宇太郎文学資料館展示室

職員による展示解説をおこないます。
申込不要です。



西鉄小郡駅より徒歩20分、甘木鉄道大板井駅より徒歩3分、コミュニティバス「文化会館」下車 徒歩1分

野田宇太郎文学資料館

（小郡市立図書館内）

〒838-0142

福岡県小郡市大板井136-1

電話 0942-72-7477 FAX 0942-72-3501

URL：<http://www.library-ogori.jp/noda/index.html>